

けんぽく

第34号[平成28年9月号]

県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する情報をお知らせします。



平成28年9月30日発行

「食」と「ふるさと」 新生運動ニュース

編集・発行 福島県県北農林事務所

◆石田さん夫妻(福島市)、黒田さん(国見町)、 福島県酪婦人部やまびこ会(県内全域)が 「第57回福島県農業賞」を受賞!

平成28年9月9日(金)、福島市の杉妻会館において、「第57回福島県農業賞」の表彰式が行われました。



受賞者の皆様

本県の農業分野で最も権威のある賞のひとつである「福島県農業賞」は、農業経営の改善や集団活動等に意欲的に取り組み、顕著な業績を上げている農業者を表彰するもので、農業経営改善部門、集団活動部門、新規就農部門の3つの部門があります。今年度は、それに加え復興・創生特別賞も新たに設けられました。

今回、当農林事務所管内からは、農業経営改善部門で管内の2組の生産者と、集団活動部門で県内全域の農業生産団体が受賞されました。

農業経営改善部門で受賞された石田仁一さん・美智子さんは、福島市でナシやリンゴ、スモモの栽培を行っています。収穫時期の異なる複数の品目や品種を組み合わせた果樹栽培を行っており、自宅で開催する研修会を開くなど、地元農家への情報発信にも力を注いでいます。



石田さん御夫妻(両端)と内堀知事

同じく、農業経営改善部門で受賞された黒田武さんは、国見町でリンゴやモモを中心とした複合経営を行っています。リンゴは、食味を重視し、収穫直前まで葉を摘み取らない「葉取らず栽培」に取り組んでおり、モモは、せん孔病菌対策として防風ネットを活用する等、技術的な工夫を行っています。



黒田さん(左)、息子さんのみゆる 壤さん(右)と内堀知事

また、集団活動部門(農村女性活動の部)で受賞された「福島県酪婦人部やまびこ会」は、県酪農業協同組合の女性で構成する団体で、牛乳の消費拡大や酪農業のイメージ向上等に取り組んでおり、東京電力福島第一原発事故後も、会員一丸となって県内の酪農業の活性化に向けた活動を積極的に行っています。



「福島県酪婦人部やまびこ会」の皆様と内堀知事

いずれも、御自身の経営のみならず、地域の模範となる取組により、農業振興に多大な貢献をされました。受賞者の皆様の今後のますますの御活躍を御祈念申し上げます。誠にありがとうございます！

(企画部)



第二部(若雌2)チャンピオン 福島地区
阿部幹生さん出品牛 (阿部さんと水戸所長)

の4)が選ばれました。

また、来年9月7日(木)～11日(月)には、「第11回全国和牛能力共進会」(全共)がお隣の宮城県で開催されることから、審査員の講評に熱心に耳を傾ける生産者の姿が見られるなど、全共への参加の意欲は徐々に高まっています。

(農業振興普及部)

◆「第26回県北地区肉用牛共進会」が開催されました！

平成28年8月26日(金)、本宮市の福島県家畜市場において、ふくしま未来農業協同組合主催の「第26回県北地区肉用牛共進会」が開催されました。第一部から第四部に分かれて合計33頭の出品があり、県北地区から和牛飼育農家や市町村、関係団体の職員等約100名の参加を得て、盛会となりました。



グランドチャンピオン 第四部(母娘2頭群)
安達地区 佐藤善映さん出品牛群

今回の共進会は、平成28年9月29日(木)に開催される「JAグループ和牛育成管理共進会」の地区予選と位置づけられ、県北地区の代表牛を決める重要な共進会で、各部チャンピオン牛の中から、グランドチャンピオンには、第四部の安達地区 佐藤善映さん出品の母娘牛群(第2たから、第2たから

◆第4回県北産「親子で作るまごころ食育お弁当」コンクール二次審査及び表彰式が開催されました！

平成28年9月11日(日)、福島市飯坂町の「パールせいいざか」において、福島県北食品衛生協会主催の第4回県北産「親子で作るまごころ食育お弁当」コンクール二次審査及び表彰式が開催されました。

本コンクールはお弁当づくりを通して親子の絆を深めるとともに、地産地消並びに食育の普及を図ることを目的に平成25年から開催されており、当農林事務所も後援しています。



最優秀受賞の千葉さん親子と紺野会長(右)

今年度は県北地区の小学校5、6年生親子から287点の応募があり、当日は一次審査の書類審査を

通過した 40 点について審査を行いました。審査会場に並べられたお弁当はいろいろな地元の食材が使われ彩りもよく、栄養バランスにも配慮されており、甲乙つけがたいものばかりでした。

審査の結果、最優秀賞には千葉さつきさん（福島市立瀬上小学校）のお弁当が選ばれたほか、優秀賞 2 点、特別賞 3 点が受賞となりました。



最優秀作品のお弁当

授賞式の前には福島県県北保健福祉事務所の職員から食育の講話も行われ、参加者はバランスのとれた食事をとることなど食の大切さを感じていたようでした。

外食や孤食が多くなっているこの頃ですが、コンクールに参加することで、地元の農産物のおいしさや食事の大切さを改めて実感されたのではないかと思います。

（企画部）

◆りょうぜん里山がっこうが農都交流キックオフミーティングを実施！

福島県では、農村における人口減少や高齢化の影響を軽減するため、地域資源を活かし、都市の企業等との交流・連携を深め、農村地域における雇用と所得が確保できる仕組みを構築していく「元気な農村創生企業連携モデル事業」を実施しています。今年度、伊達市霊山町の「りょうぜん里山学校」が、新たにこの事業に取り組むこととなり、平成 28 年 9 月 6 日（火）、りょうぜん里山がっこうの会議室において、関係者によるキックオフミーティングが開催されました。



福島県農都交流アドバイザーの石川智康氏の講演

当日は、りょうぜん里山学校事務局、株式会社 JTB、伊達市の地域おこし協力隊、市や県の行政など様々な立場の関係者が参集しました。実際に現地を巡回し地域の資源を確認するフィールドワークや、「都市との新しい交流で地域ににぎわいを作ろう」と題した福島県農都交流アドバイザーの石川智康氏（移住・交流推進機構総括参事）の講演を受講した後、今後の事業の進め方等について参集者で協議を行いました。協議では、モニターツアーや受け入れ準備を進める上での方向性や課題が出され、関係者の取組への意欲が高まっている様子でした。



参加者で今後の取組について協議

今後は、秋に開催予定の都市の企業等を対象にしたモニターツアーの開催に向けた準備を進める予定ですので、開催の折は御紹介しますので、ぜひ御注目ください。

（企画部）

◆農作業の負担軽減！「農業用ロボットセミナー及び機械展示会」を開催！

近年、農作業の負担軽減のための農業用ロボット等が開発されています。しかし、まだ新しい技術で、農業者等に十分周知されていない状況です。そこで、「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動県北地方推進本部」の主催、福島県農業総合センターの共催により、平成28年9月2日（金）～3日（土）、第11回農業総合センターまつり果樹研究所会場において、「農業用ロボットセミナー及び機械展示会」を開催しました。



セミナーに真剣に聞き入る参加者

当日のセミナーでは、農業総合センター 企画経営部 経営・農作業科 青田聡主任研究員に、「アシストスーツの現状と課題」と題し、最新の情報を交えて農作業アシストスーツ等に関する講演が行われました。

また、株式会社クボタ、株式会社イノフィス、株式会社ニッカリと福島県ハイテクプラザに協力いただき、最新型のアシストスーツや電気柵用除草ロボットの展示等を行いました。



各メーカーのアシストスーツ試着体験も大盛況

参加した農業者や関係機関職員等は、とても興味深くセミナーに聞き入っている様子でした。また、各メーカーのアシストスーツの試着体験や、除草ロボットのデモンストレーションを見て、開発の現状や将来的な現場での活用について思いを巡らせている様子でした。



電気柵用除草ロボットのデモンストレーション

機械化・省力化による農作業の負担軽減に向け、今後、さらなる技術開発が進むことが期待されます。

（企画部）

◆平成28年度「西根堰の^{ずいどう}隧道探検」が開催されました！

平成28年8月18日（木）、県の「^{みどり}水土里を育む普及促進事業」を活用し、伊達西根堰土地改良区主催による『西根堰の隧道探検』が開催されました。当イベントは西根堰の歴史や水の大切さを学ぶため、毎年8月に、西根上堰頭首工（福島市湯野地内）を出発点として開催し、隧道（水路トンネル）内をボートやタイヤチューブに乗って、第二号隧道までの約500mの区間を探検するものです。今年も地元の小学生を中心に約40名の参加がありました。

西根堰は、今から約400年前の江戸時代初めに、当時の領主上杉景勝、上杉定勝の時代に人力でつくられた歴史ある農業水利施設で、福島市・伊達市・桑折町・国見町の2市2町に広がる水田・畑の約1,400haを潤しています。



隧道探検に出発！おしりが冷たい！

その後、県営かんがい排水事業により、昭和40年代に現在のコンクリート水路に整備されましたが、ところどころに昔の姿を残しており、平成22年には、社団法人土木学会の選奨土木遺産に認定されました。



楽しい時間はあっという間でした

土木遺産認定を契機に、西根堰の歴史を感じながら歩くイベント『健康ウォーク(ノルディックウォーク)』も開催されます。今年は11月12日(土)に開催を予定していますので、西根堰の歴史に興味を持った方は、ぜひ御参加ください。

※詳しくは水土里ネット西根堰HPを御覧ください。

<http://sky.geocities.jp/datenishine/>

(農村整備部)

◆平成28年産の稲WCSの収穫調製作業が始まりました！

平成28年8月22日(月)、伊達市保原町のふくしま未来農業協同組合保原営農センターにおいて、稲WCS生産組合及びふくしま未来農業協同組合主催で平成28年産の稲WCS(ホールクロップサイレージ)の収穫調製作業開始式が行われました。

開始式では、稲WCS生産組合長の長澤氏及びふくしま未来伊達地区本部担当常務の荻原氏のあいさつに続き、来賓の県北WCS利用組合長の安斎氏、当農林事務所伊達農業普及所の吉田所長から御祝いと激励を行いました。



稲WCS収穫調製作業開始式の様子

伊達市の稲WCS生産は、平成20年から行われており、稲WCS生産組合(現組合員数40名)が取り組んでいます。平成28年度の栽培面積は31.3ha(196筆)で、品種は全て「コシヒカリ」で、ほぼ全量が県北地方の酪農家の飼料として契約販売されています。

栽培方法は、通常の米生産とほぼ同じですが、茎、葉、籾のすべてが飼料となるため安全性が確認された指定された農薬が使用されています。

また、平成25年度以降は経営所得安定対策の耕畜連携助成を活用して、供給先酪農家の堆肥を還元(累計31ha)しており、平成28年度は20haの堆肥散布を計画しています。

収穫調製作業は、ふくしま未来農業協同組合の子会社「みらいアグリサービス株式会社」に委託しており、汎用コンバインで刈り取られた稲はロールベアラーで、乳酸発酵促進剤を加えながらロール状

にし、ラッピングマシンによりポリエチレンフィルムで隙間なく梱包します。



稲WCS収穫調製作業の状況

稲WCSの放射性物質濃度については、県が緊急時環境放射線モニタリングとして抽出検査を行うほか、ふくしま未来農業協同組合や福島県酪農業協同組合がほ場ごとにNaIシンチレーション検査器で検査し、製品の安全性を確認した上で納品されます。

(伊達農業普及所)

検査の実施と検査精度の向上に資することを目的としたものです。



熱心に受講する参加者

この研修会は、米の全量全袋検査が始まった平成24年度から毎年開催しており、今回で5回目となります。今回は、県北管内の地域の恵み協議会及び地域農業再生協議会から44名が出席しました。

当日は、当農林事務所職員が講師を務め、平成27年産米の検査実績と概要に関する説明のほか、検査の目的と仕組みや、検査器の基礎知識、「放射性物質検査の基礎的事項」と、福島県が定めた「米の放射性物質全量全袋検査に係る標準検査手順書」について具体的に解説しました。

今回の研修会の受講者には、今後、県が検査員に委嘱し、安全・安心な米の流通のため活躍していただくこととなります。

なお、平成27年度は県北地方8市町村で約1,354,000袋検査しましたが、その全てが食品衛生法の基準値（1kgあたり100ベクレル）を下回っています。

(農業振興普及部・伊達農業普及所・安達農業普及所)

◆「県北地方『平成28年産米の全量全袋検査に係る検査業務研修会』を開催！

平成28年9月13日（火）、福島市松川支所大会議室において「県北地方『平成28年産米の全量全袋検査に係る検査業務研修会』」を開催しました。



米の全量全袋検査に関して説明

この研修会は、県北管内の地域の恵み協議会、地域農業再生協議会で新たに全量全袋検査に従事する予定の検査員を対象に、検査の趣旨や正しい検査方法等必要な知識の習得を図ることにより、円滑な

◆「食の安全に関する講演会」を開催します！

福島県北食品衛生協会では、消費者の食を取り巻く多様な問題に対し、より多くの情報を提供することを目的として、講演会を開催いたします。

皆様のお申込みを心よりお待ちしております。

- ・日時 平成28年11月12日（土）
午後1時30分～午後4時30分
- ・場所 とうほう・みんなの文化センター
（福島県文化センター）
- ・内容 「食品のリスク評価の現状と課題」
講師 宮崎大学客員教授
前内閣府食品安全委員会事務局長
姫田 尚 先生
「食品安全の観点から～暮らしに役立つ食品表示」
講師 消費生活コンサルタント
東京海洋大学非常勤講師
森田 満樹 先生
- ・参加料 無料
- ・申込等 電話 024-531-1328

（企画部）

●「第3回こつなぎ花祭り」

- ・日時：平成28年10月30日（日）
10:00～15:00
 - ・場所：小綱木公民館広場
（川俣町小綱木脇11）
 - ・その他：駐車場有（川俣町農業振興公社）
 - ・内容：鉢植えざる菊の展示・販売
地域特産品（川俣シャモ加工品、農産物等）の販売
フォルクローレ演奏、日本舞踊等のステージイベント
 - ・問合せ：024-566-5200（小綱木公民館）
- ※新しい郷土料理「シャモはっとう汁」無料配布（なくなり次第終了）

（企画部）

◆管内のイベント情報

県では、県民の皆様が主役となる個性と魅力ある地域づくりを推進していくために、民間団体や市町村等が行う地域振興の取組を支援する「地域創生総合支援事業（サポート事業）」を実施しております。

県北地域においても、この事業を活用した様々な取組が行われておりますが、その中から10月に開催される地元農産物や特産品等を取り扱うイベントを御紹介いたします。

皆様、ぜひ足を運んでみてください。

●「こおり満福まつり！2016」

- ・日時：平成28年10月10日（月・祝）
10:00～16:00
 - ・場所：桑折町ふれあい公園
（桑折町大字上郡字林泉寺前）
 - ・その他：入場無料・臨時駐車場有
 - ・内容：ライブステージ、うまいもの屋台
- ※詳細は桑折町ホームページを御覧ください。

<http://www.town.koori.fukushima.jp/soshiki/5/mannpuku-fes2016.html>

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動県北地方推進本部の構成員活動紹介

福島市認定農業者会 “安定した農業経営及び地域農業振興を目指して”

当会は、福島市の農業の中核を担う農業者の組織として会員相互の経営改革と連携強化を目標に、各種研修会、行政への支援策の提言等幅広い活動を展開し、役員会（実務担当者との合同会議）を主体に協議を進め、支部活動を強化することによる認定農業者会員の経営改善に貢献できる体制づくりを目指して事業活動を行っております。

具体的には、

- ①福島市長との懇談会
- ②福島市農業委員会7役との意見交換会
- ③資質向上先進地視察研修会の開催
- ④資質向上講習会（農業税務講座、労務管理講座）の開催
- ⑤講演会の開催



福島市長との懇談会

また、各地区に支部を設け（7支部）支部会員の資質向上、行政への意見反映等を目的に、各支部の自主性をいかした情報交換会や交流会等を開催しております。

具体的には、

- ①地区農業委員との懇談会の開催
- ②支部全体研修会の開催等

また、女性認定農業者の拡大・資質向上を目指し、視察研修会を実施しております。

今年度においても、各行政団体との連携強化はもとより、合併新JA役員との懇談等を実施し、現状抱えている課題解決へ向け前進すべく、地域農業の振興および認定農業者への更なる支援強化を含め会員の要望に応える活動を行ってまいりたいと思います。



資質向上講習会
（農業税務講座、労務管理講座）



福島市農業委員との意見交換会



通常総会および講演会

福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

